

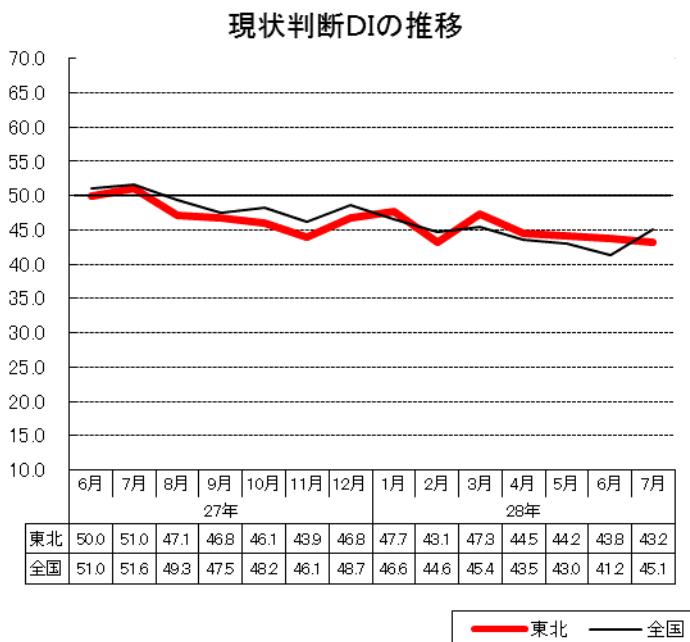
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 7 月東北分
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力（株）取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 7 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

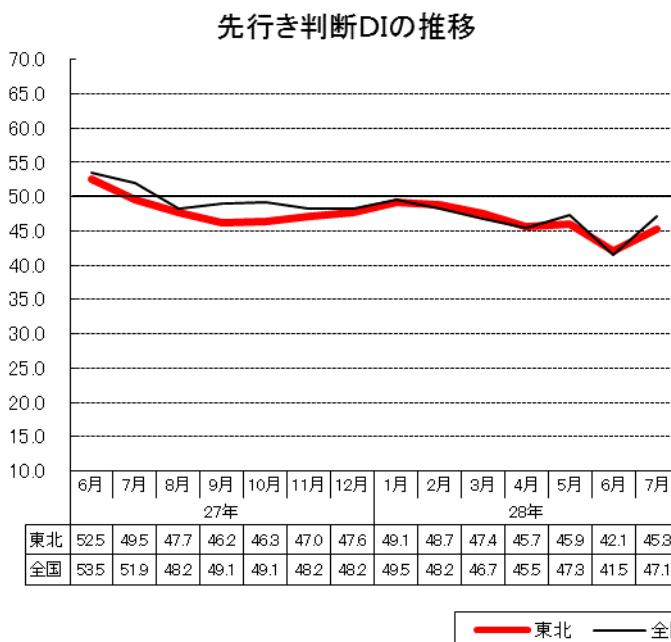
1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「43.2」と 4 か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.6 ポイントとわずかに下回り、12 か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「45.3」と 2 か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.2 ポイントとやや上回ったが、13 か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



・家計動向…百貨店、旅行代理店、商店街代表者等で DI が前月を上回ったが、高級レストラン、観光名所・遊園地、住宅販売会社等の業種で DI が前月を下回った。DI は「42.2」（▲1.0）と 2 か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 14 か月連続で下回った。

・企業動向…その他企業動向を把握する者、農林水産業従事者、出版・印刷・同関連産業等の業種で DI が前月を下回ったが、金融業、輸送業等の業種で DI が前月を上回った。DI は「43.6」（+1.1）と 4 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 4 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「48.9」（▲1.1）となり、3 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 4 か月ぶりに下回った。

・家計動向…一般レストラン、観光型ホテル、住宅販売会社等の業種で DI が前月を下回ったが、自動車販売店、その他専門店、スーパー等の業種で DI が前月を上回った。DI は「45.0」（+1.4）と 5 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 13 か月連続で下回った。

・企業動向…通信業、建設業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「44.2」（+7.9）と 2 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 4 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「48.9」（+5.1）と、2 か月ぶりに前月を上回ったが、2 か月連続で基準値 50 を下回った。

＜参考＞

■D I の推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年							28年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	50.0	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2
家計動向関連	48.6	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2
企業動向関連	55.4	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6
雇用関連(参考)	48.9	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9

(2) 先行き判断D I

	27年							28年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	52.5	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3
家計動向関連	51.0	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0
企業動向関連	56.5	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2
雇用関連(参考)	54.5	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9

※D I (Diffusion Index) について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成28年7月25日～31日

回答者数 196/210名、回答率93.3%(全国1,862/2,050名、90.8%)

以上

＜お問い合わせ先＞

公益財団法人 東北活性化研究センター(担当:萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

＜別 紙＞

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…直轄、補助事業共に公共事業などの出件が続いている。また、新年度になり発注された各種事業の受注者も確定してきている。

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…販売停止になっていた軽自動車が販売再開となり、新車販売台数が増加に転じている。

（旅行代理店）…原油安や、英国のEU離脱問題に端を発した円高基調などが原因で、長らく不振であった海外旅行に復調の気配がみられている。

（輸送業）…海産物の取扱が順調に推移している。

（金融業）…前年と比較して、全体的に物量は増加している。特に、卸売業界においては優勝劣敗が一層明確になってきている。

（新聞社[求人広告]）…国体に向けた人手確保を背景に、宿泊業、飲食サービス業の新規求人数が伸びている。

○「変わらない」

（商店街）…現在は好景気ではないが、決して不景気でもない。問題は、この不思議な静けさが持続するのかどうかにかかっている。消費者は、将来このまま安定するかどうかが見通せないことから、不安を感じているのではないか。

（カメラ販売店）…販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが鈍く、売上が伸びない状態が続いている。

（百貨店）…中元商戦、夏のセール商戦も微減となっている。ただし、セールのスタート時は季節商材が活発に動いており、消費者の価格に対するシビアな見方が顕著に表れている。また、お中元は客の高齢化とともに、依然として前年からのマイナスが続いている。

（家電量販店）…例年より梅雨明けが遅く、気温が上がらないため季節商材の販売が遅れている。

（住関連専門店）…天候には恵まれたが、来客数が少なく街にもにぎわいがない。客の財布のひもは一層固くなっている様子である。

（酒類専門店）…前年と比較して、特に生ビールの販売量の伸びが悪い。暑くなるのが早かったため、全体的に伸びるものと期待をしていたが、始まってみれば日によって販売量のばらつきが大きく、得意先によっても状況が大きく変化している。また、お中元の動きにも鈍さがみられている。

（通信会社）…企業努力で増収になっているものの、販売量は増えていない。

（観光名所）…来客数の前年比は、小幅な変動を繰り返しながら横ばいで推移している。客の購買行動については、天候不順により気温が低いことで、アイスなどが伸びていない。

（美容室）…来客数を含めてあまり変化はない、客からもあまり良い話を聞かない。

（住宅販売会社）…太陽光発電用地の需要は終息したが、小規模風力発電及びバイオマス発電用地の検索依頼が多く出てきており、行政側と協調しながら進めている。

（司法書士）…金利低下による住宅ローンの借換え需要が一段落している。

（人材派遣会社）…求人人数は変わらず堅調に推移しており、求職者の登録数も好調であるため、企業が募集をする案件数も多くなってきている。このような状態はここ1年ほど継続している。

○「やや悪くなっている」

（スーパー）…夏に差し掛かると気温の変化が売上に大きく影響するが、今年は気温があまり上がらないため、来客数、販売点数、1品単価などすべての数値が下がっている。

(コンビニ) …来客数の前年比が3ポイント落ち込んでいる。また、気温が前年より低く、飲料、アイス、酒の販売量の減少が著しい。

(衣料品専門店) …サマーセールに入っても来客数は伸びていない。来店した客も購入には非常に慎重であり、買上率も減少している。

(高級レストラン) …ホテル全体で前年を大きく下回っており、なかでも料飲部門の下落幅の大きさが目立っている。賞与の時期でもあり、消費の活発化を期待していたが、予想を裏切られる形となっている。

(一般レストラン) …夏休みになり、子や孫がいる客層は外での行動時間が日中になっている。そのため、アルコールも出る夜の部が手薄になっている。

(観光型旅館) …販売量は順調であるが、単価が下がっており利益が少ない状態である。前年にあった補助もなく周りの消費意欲が低下しているため、景気は後退している。

(都市型ホテル) …フリー客の減少傾向は薄れつつあるが、予約状況が芳しくない。先行きに不透明感を持っているのか、企業や個人客共に予約の進捗が大幅に遅れている状況である。

(リフォーム業) …消費税増税の再延期により、追い風需要に代わるキャンペーンを企画したが、すぐには工事受注につながっていない。

(食料品製造業) …7月は選挙があったため、観光客やお中元の動きが鈍っている。

(一般機械器具製造業) …国内の受注量に大きな変化はないが、海外向けにおいて受注量が減少している地域がある。また、円高水準で推移しているため、海外向けの採算に影響が出てきている。

(電気機械器具製造業) …モバイル電子機器の生産量が鈍化傾向にある。

(広告業協会) …大型小売店は、この時期にボーナスセールやクリアランスセールなどのバーゲンセールを実施するのが恒例であるが、今年は盛り上がりに欠けている様子である。マスメディア各社も、7月中旬以降は引き合いが少ないと嘆いている。また、折込広告に至っては、相当厳しい状況である。

(職業安定所) …新規求人数、有効求人数共に、前年同月比が減少している。また、建設業、製造業などでは、求人事業所数は増えているものの、大量求人が減少しており、募集人数を抑えている企業が多くみられている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(乗用車販売店) …人気車のフルモデルチェンジが予定されているため、大いに期待している。

(経営コンサルタント) …この先東北は夏祭りの季節を迎える。また、帰省効果もあり、消費の活性化が期待できる。

(人材派遣会社) …夏を前に求人数はいったん落ち着きをみている。しかし、すでに秋口の大型、中型商業施設の採用計画が始動しており、経済活性化の萌芽が見受けられる。

○「変わらない」

(百貨店) …クリアランスにおいても、値下げ商品を即購入するという購買動向は見受けられない。セールであっても不要不急のものに対するシビアな見方に変化はなく、来客数、単価共に回復するような要素が見当たらない。

(スーパー) …消費マインドの低下傾向は前月より顕在化してきており、一時的なものではないように見受けられる。今後、大きな経済政策が予定されていることから、消費の向上、経済浮揚に結びつくことを期待している。ただし、消費マインドの低下傾向は、根本的、構造的な問題のため、しばらくは続くのではないかとみている。

(コンビニ) …8～9月は例年天候に左右される傾向にあるが、消費マインドについては今より良くも悪くもなるような材料がない。ただし、デフレ傾向になりつつあるという実感は持っている。

(家電量販店) …前年はアベノミクスに対する期待感で客の購入意欲も盛り上がっていた。しかし、現在の客からは不安感が見受けられる。この先も不透明な状況で景気は伸び悩むのではないか。

(ガソリンスタンド) …今後、石油関連で需要が大きく増加するような見通しはなく、経営は厳しくなりそうである。また、地方経済には景気回復に寄与するような力がなく、当面は現状維持で推移するとみている。

(旅行代理店) …熊本地震による風評被害が収まりつつあり、旅行需要の回復の兆しが少しずつみえてきた矢先に、別な場所でテロが発生している。そのため、海外旅行、国内旅行共に今一つ予約件数が伸びていない。

(遊園地) …9月の大型連休がないため厳しいが、細かなイベントで下支えをしていく見込みである。

(食料品製造業) …円高の影響で、秋以降の原材料価格が低下する見込みであるが、売上状況には明るさがみえない。

(一般機械器具製造業) …円高の是正が進んでおらず、輸出採算の改善ができていない。また、国内受注量も同水準での推移が続いているが、景気が上向いているとはいえない。

(建設業) …政府の発注前倒し施策を受けて、上期の間はコンスタントな発注が続くと見込んでいる。

(飲食料品卸売業) …先行きの不透明感から様子見の状態が続いている。この先も守りの消費傾向から抜け出せない。

(職業安定所) …求人件数は堅調であるが、労働力人口の減少によって応募者が少ないと起因するものであり、景気の影響とはいえない。そのため、先行きに大きな変化はないとみている。

(民間職業紹介機関) …建設業を除いて震災復興関連は一段落しているため、業界全体としては伸び悩んでいる。

○「やや悪くなる」

(一般レストラン) …消費者のお金の使い方が変化しており、ぜいたくをしないという生活習慣に慣れてしまっている。周囲の飲食店、レストランはほとんど閉店しており、このような厳しい状態が今後、更に進んでいくのではないかと危惧している。

(観光型旅館) …景気に安定感がなく、将来の不安から消費の動向が上向くとは考えにくい。

(織維工業) …英国のEU離脱問題に伴う円高や株安などは落ち着いてきているが、次から次へと不安要因が発生している。そのため、どうしても先行きに不安が残る。

(電気機械器具製造業) …モバイル電子機器の新規開発、生産量が全体的に鈍化傾向にあり、その影響が徐々に始めている。回復する兆しがみえず、数か月はこの状況が続くとみている。

○「悪くなる」

(通信業) …地方に人が集まらず過疎化は止められない。よって、企業も中小企業は淘汰されていくとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上